

科学の科学 — 127年計画.

120年計画の back.

1989 — 科学の科学

1990 — 科学の科学

↓

53

58

↑ } 第一回五十年計画

58

63

↑ } 第二回五十年計画

Scientific
科学の科学 Science World Vol.3.
科学の科学 毎日新聞 1958-8-2

cooperative movement (1917 —)

周恩来「知識人の問題」

科学の科学の意見と見直し 科学の科学

1. Task plan (科学の科学) 57の Task の見直し — 11の意見
2. Science plan (科学の科学の雑誌) 55の Task の見直し
 (科学の科学の雑誌) No.56. 科学の科学の雑誌の1952
 法政大学出版 No.57 科学の科学の雑誌の1953

1955年12月の経緯(1) 99%の自信を以て
その目的は科学的に — 3年 science plan の設定
12年計画の27の分野 (1959)

1. 課題の研究と解決
 2. 研究、訓練の機用の整備
 3. 科学者の養成
- と12年計画

後期の研究計画 — 492件、研究機用の増強

○ 科学院 — 5部 (物理化学部、地球科学部、技術科学部、理学部、工学部) earth sci, tech sci, 理学部

○ 総合研究所 1955年、4部 (2部) 総合研究所

○ 産業部門

○ 大学

大学院生	
Doctorate level	800人
Others	6200人
総勢	33000人

1958. — 150大学 学員数7万人

○ 教育の整備 } 重要性

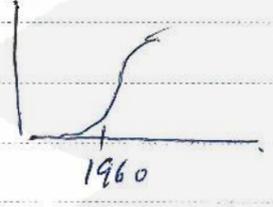
○ 派遣

友邦(2)との協力

1) 際物 —

1) 連電の初期から際物を研究
本邦に68年シベリア脱隊の delegation が来た。
120人が1年を越

物 (トフTetc)
本邦に56年計画で12月22日研究11回が印刷された。
57~58 12月1962年の近代物理学の進行。
JETP 中の中口人の論文



120年11月の研究 — 論文が発表
58年 — 大躍進 —

銭三三氏 — 中口の厚さ

1958-6月 重水実験炉 (Y通炉) 7000~10 KW
(Peking) 大型型50 - α -25 MeV (Y通)
小型
真空ボヤ (D.P.)
測定器 南塔 Spectrograph
cumbson scint
P.M. Muller -
mpsec-pulse

以上 団 銭 } 論文

10-A-5

胡寧

全党の科学技術に力を入れる

科技革命

科学技術の発展のための思想問題

1. 足跡のな 依拠心をもち
 2. 自己への心をつとめる 専門知識を学べ
 3. 科学に ~~神聖~~ ^{神聖} なる心をもたせよ
- 人民日報の「鉄...」を参考に (伝文の報告)

科学技術者の自己改革を促す

大衆の向う感に訴える

~~科学技術者の~~

National Pride

愛国心

に注意が必要がある

周恩来 知識人の問題についての報告

5/6 は本来の業務へ、
業務を通じて人民の奉仕をめざす

専門家

教育に専心

自己の研究は次の内容

現在の姿勢

共産党の思想の養成

人民の科学的 level の向上

胡寧

銭三強

研究の発展させるべく
つとめる意見を出さねば

理論物理学研究論文

論文の著者の足跡が多し

ベテラン同志の共同論文はみえて、若年とベテランの差が
多い。

国際交流

・1950年代 日米との交流の意欲が強かったが、この頃
政治情勢の影響が大きい。

共同培養源氏 - 主に英米圏的、^{国際} 陰謀の対立、^米 米との
国際交流の前提に理解が前提。

中20人は entry に consistent

10-4-67

中川の本基本政治路線

~~中川の本基本路線~~

中川の人の本基本的な方針

中野

一貫性があるようにある。

- レーニ主義万歳
- 引加口 声明
- 万水博大会

時代の規定。 ———— 本質不変

戦争と平和。 ————> 戦争の可能性

新時代の延長

1. 社会主義的の世界经济体制が崩壊した
2. 権威地体制が崩壊した
3. 科学技術の飛躍的の進歩した

本質の本質は変らぬ。

冷戦の最終段階。

経済発展のためホーカを使う。

戦争と平和

階級の政治形態の連続である

戦争は避けようとする。この延長は批判。

◎ 今の本質は何か現象か。戦争の共存

10-A-8

戦争の起る原因は帝国主義。
平和生存の完成のため。これは帝国主義から
争いごとく。
平和的な支配階級への人民の力を抑え
ては来なかった

1957年 モスクワ宣言

世界史を決定するのは人民大衆である。

戦争の可能性を防止するには
— の中心は } 自覚の団結と組織的
の権威 } 人民の力は天下を敵にする。

これは核戦争の可能性を示す。

平和と争いの
社会主義と争いの (革命) } どちらの
 } であるかの
 } 争い

原水物(62)の^{連日}発表の行はる

60年 3月 口声明

大概

序長 1 社会主義体制の白と決定の
要因と云々

2. 植民地体制のハナシ

3. 世界主義

世界主義の任務
平和

世界 1962年3月号
中ノ論争

中口哲子 & キリコ 哲子 国際思想

人論 $\xrightarrow{\text{中口}}$ 国際論
 $\xleftarrow{\text{キリコ}}$